

# 秋厚労ニュース

NO1759号

2017年4月20日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

# 転勤の不満続出

4月1日付

## 83人転出

4月の人事異動では、秋厚労「転勤110番」の電話がかつてなく鳴りました。転勤内容も問題ですが、多くの方が理由や目的の説明がないことへの不満を訴えています。秋厚労は、急きょ事務折衝を行って経営者に改善を求めました。

2017年4月1日付「転勤」病院別人数

転入 転出	かつの	北秋田	能代	湖東	秋田	由利	大曲	平鹿	雄勝	本所	県	合計
かつの		1		1			1		1			4
北秋田	4							1	1			6
能代		1			5				1	1		8
湖東		1			3							4
秋田	1		1	3		2	1		3	2		13
由利	1			1	3		1		2			8
大曲	1	1			2	1		4	2	1		12
平鹿	1				4		3		3	1		12
雄勝			1		1		2	2		1		7
本所			2	1	1	1		1	1		1	8
県											1	1
合計	8	4	4	6	19	4	8	8	14	7	1	83

2017年4月1日付人事異動職種別人数

職種	医師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	臨床工学士	リハビリ	管理栄養士	看護師	事務	合計
同事業所内	12	6	5	7	2	13	1	72	46	164
勤務地変更		1	6	8	3	10	2	19	34	83
合計	12	7	11	15	5	23	3	91	80	247

## 理由や目的をきちんと説明してほしい

秋田県厚生連の今年4月1日付「人事異動名簿」には、定年退職を除き、247人の名前が記載されています。そのうち、昇格・部署替えなど「同一事業所内」が164人、「他の事業所（勤務地）への転出」が83人でした。

この83人について、病院別に見ると、転出が多い病院は秋田・大曲・平鹿。転入が目立つのは秋田・雄勝。職種別には、事務・看護・リ

### 鳴る転勤110番

かつて不幸な事件も起きていたことから、秋厚労は、3月・9月の異動内示時期に「電話相談待機体制（転勤110番）」をとっています。これまでそれほど件数はありませんでした。

そこで、秋厚労は、3月24日、①転勤の理由と期限を本人

## 事務折衝で経営者に改善求める

に説明しているか、②当該者から託された個別の疑問点、③全体として不満の声が多いこと、の3点について事務折衝を行いました。

経営側は、「期限はなかなか難しいが、理由については各病院できちんと本人に説明するよう指示している」などと弁明。秋厚労は「不満を持ちながら仕事をすれば病院にとってもマイナスのはず。最大限の配慮を」と念を押しました。

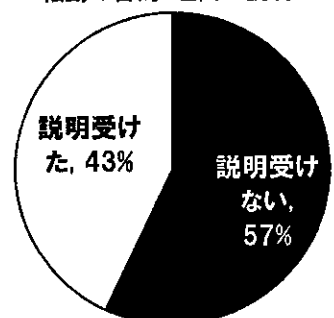
### 6割が説明なし

「転勤110番」とともに始めた取り組み「転勤者への手紙」も続いています。今回の場合、「手紙の返答」を

たが、今回はかつてないほど電話が鳴り、うち数件については本部が現地に出向いて当該の人から直接お話を聴きました。

その多くが、一部署から中堅クラスを複数人異動、あるいは通勤範囲を大幅に超えた遠方への異動など、疑問を感じるものばかり。

転勤の目的・理由の説明



中でも彼らが最も不満を抱いているのは「理由の説明がないこと」でした。

集計してみると、「理由や期限について説明を受けた」という人は全体の43%にとどまっています。また、「明確な基準がほしい」「転勤の決定が出るのが遅く、引越などの手続きが難しい」など、転勤への思いも数多く書き添えられています。

転勤は、本人・家族・職場も大きな影響を受ける重大事。それだけに、転勤理由の説明については、経営者の弁明と現実とのズレが大きいことも問題です。秋厚労は、「内外の人が働きたいと思うような職場」をつくる上で、転勤はきわめて大きなウェイトを占めると考えており、取り組みを続けていきます。